

バーチャル・ラーニング・プラットフォーム(VLP)の試行実施について

不登校支援及び日本語指導支援が必要な児童・生徒に対して、東京都教育委員会と連携して、オンライン上の仮想空間を活用し、居場所や学びの場を提供する取組の試行実施を行う。

本事業の目的及び内容等について、下記のとおり報告する。

1 目的

- (1) 不登校状態の児童・生徒に対して、オンライン上の仮想空間を活用して、関わりの場や学びの場を提供することにより、将来の社会的自立を支援する。
- (2) 日本語指導を必要としている児童・生徒に対して、オンライン上の仮想空間を活用して、実際に日本語を話したり聞いたりする機会を増やし、学習活動に参加できる力を育成する。

2 試行期間

令和5年4月から令和8年3月までの3か年

3 指導形態

オンライン上の仮想空間において、アバターを操作しコミュニケーションの機会を確保して、個別の支援等を行う。

4 実施主体

東京都教育委員会、杉並区教育委員会

5 取組状況

(1) 不登校支援

- ・適応指導教室（さざんか教室）に利用登録している不登校生徒を対象として、毎週水曜日の午前中に実施
- ・適応指導教室（さざんか教室）職員及び生徒保護者に説明会を実施
- ・令和5年11月より実施
- ・指導主事、適応指導教室（さざんか教室）職員等が指導

(2) 日本語指導支援

- ・済美教育センター主催の日本語教室指導を受けている杉並区立中学校に在籍する生徒を対象として、毎週水曜日の午後に実施
- ・日本語指導職員（国際理解担当）に説明及び体験会を実施
- ・令和5年11月より実施
- ・日本語指導職員が指導

6 その他

- ・参加費は無料
- ・今後、参加対象を拡大できるよう、試行を進める。

バーチャル・ラーニング・プラットフォーム(VLP)の試行実施について 【参考資料】

バーチャルラーニングプラットフォームの利用イメージ

①



②



③



④

